

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2018 年 9 月 14 日作成

研究課題名	消化管穿孔及び瘻孔症例に対するポリグリコール酸（PGA）シートのフィブリン接着剤の有効性 ー多施設遡及的研究
研究の対象	2013 年 4 月 1 日から 2018 年 3 月 31 日までの期間に横浜市立大学附属市民総合医療センターで消化管の穿孔（腸に穴が開いた状態）や瘻孔（内容物が漏れ出る状態）に対し消化管内視鏡処置としてポリグリコール酸シートとフィブリン接着剤を使用した患者さん
研究目的 ・方法	穿孔や瘻孔に対して、ポリグリコール酸シートとフィブリン接着剤の効果を把握する。方法として、上記薬剤を使用した患者さんの経過を診療録をもとに集積する。
研究期間	西暦 2018 年 10 月 15 日（許可日） ～ 西暦 2019 年 7 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 種類	すでに市場化されているポリグリコール酸シートおよびフィブリン接着剤。 診療録。
外部への 試料・情報の 提供	情報を提供する際は、個人情報を含まない匿名化されたデータを大阪国際がんセンターに提供され厳重に管理されます。
外部からの 試料・情報の 取得と保管	外部から試料・情報の取得はありません。
研究組織	研究代表者 大阪国際がんセンター 消化管内科 竹内 洋司 実施医療機関 東京大学医学部付属病院 消化器内科 辻 陽介 他 10 施設
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター 内視鏡部（研究責任者）平澤 欣吾

電話番号：045-261-5656（代表）